

第41回熊本県学校事務研究大会参加者アンケート集計結果

アンケート考察者 熊本県学校事務研究協議会 研究部長 平野哲也

○基本情報

熊事研会員数 526名
 第41回研究大会参加者数 371名(来賓を除く)
 アンケート提出者数 215名(回収率 58%)

■アンケート実施日 H29. 2. 3

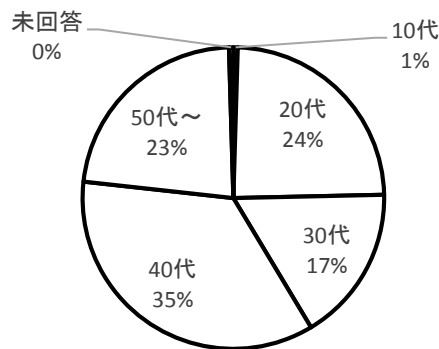
■回収場所 やつしろハーモニーホール

■対象者 第41回熊事研大会参加者

[1]運営について

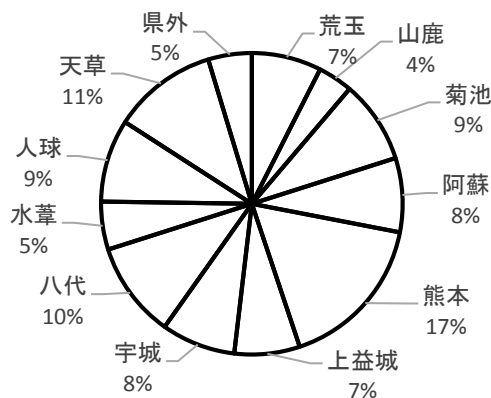
1 年齢

10代	1
20代	52
30代	36
40代	76
50代～	49
未回答	1



2 所属地等

荒玉	16
山鹿	8
菊池	19
阿蘇	17
熊本	36
上益城	15
宇城	17
八代	22
水葦	11
人球	19
天草	24
県外	10



※教委・高校・その他については回答者なし

3 運営等について

(1)会場の選定	137	68	8
(2)受付	157	51	4
(3)会場の設営	160	50	3
(4)役員の配置	163	47	3
(5)運営の方法	156	52	5

□よい □ふつう □工夫を要する □未回答

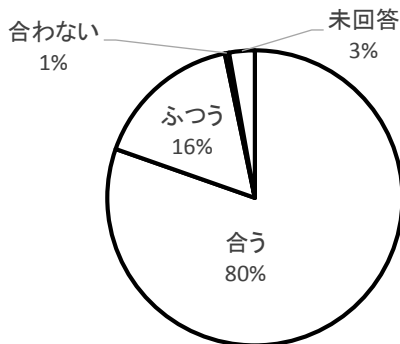
[1] 運営について考察

会員数526名に対し317名と60%の参加でした。参加者の年齢において、40代が最も多く次いで20代という状況でした。30代が極めて少ない状況でした。30代事務職員全体の数が少ないのか、今後の熊事研を動かしていく人たちの参加が少なかったのが残念である。

やつしろハーモニーホールは熊事研大会で初めて使用する会場だったため、行き届かなかった点がたくさんあったと思います。他県の大会や全事研大会等を参考にしなければいけないと思いました。受付の際の列の整備等は会場へのスムーズな案内のために協力員や役員等増員が必要だと思います。また、当日の朝からの打ち合わせでは不十分だったので、旅費が許せば事前に会場での打ち合わせも必要です。

[2] 熊本県教育長講話について
講話内容についてニーズに

合う	172
ふつう	35
合わない	1
未回答	6



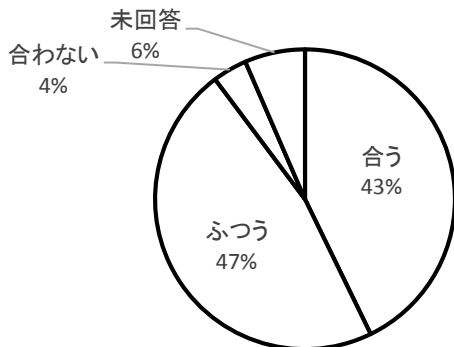
[2] 熊本県教育長講話について考察

概ね、会員にとってはニーズに合うという回答をいただいています。教育長の今までの体験をもとにとっても大切なことを、語り口調で話していただいたのが共感できた部分ではないのかなと思います。教育委員会の政策や取組を型にはめずにお話いただいたのではないかと思います。心に響いた数多くの感想も寄せられています。時間が許せば質問も受けるという直前のお話にも、事務局・研究部も急遽対応をしました。しかし、残り時間が少なくなり謝辞を考えると質問を受ける時間はないと判断しましたが、質問の時間を設けて教育長と学校事務職員の距離が少しでも縮まって良かったのではないかと反省しました。

[3] 全体研究会について

1 全体研究会①「全事研熊本大会支部発表」について

合う	92
ふつう	101
合わない	8
未回答	14

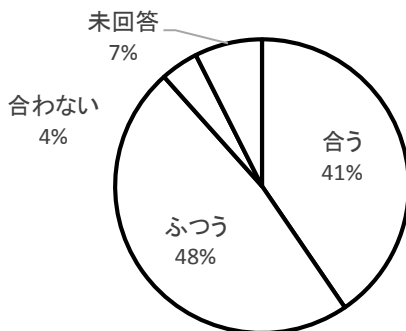


1 全体研究会①「全事研熊本大会支部発表」について考察

チームくまもとの取組を再発表したことがニーズに合うと感じた会員が43%、ふつうと答えた会員が47%でした。発表の内容は理論研究であるということから、言葉の表現等が難しい部分がありました。熊本県の現状としては研修の機会が少なく、チームくまもとの研究においても「財務」というものをわかりやすく説明するように努めました。「学校教育目標と財務の関わり」について考えて欲しいという思いから、財務と企画・調整にかかる部分をゆっくりと話したつもりでしたが、総額裁量制についての意見が多くあったような感じがします。学校において財務を扱う唯一の行政職員として、事務職員が企画・運営委員会に入り、財務的調整を図るためには何が必要であるか、何を求められるのかをグランドデザインで示していけたらと考えます。

2 全体研究会②「熊本版グランドデザイン」について

合う	87
ふつう	103
合わない	9
未回答	16

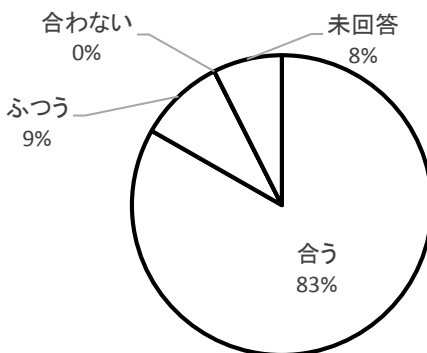


2 全体研究会②「熊本版グランドデザイン」について考察

グランドデザインが完成に至らなかったために、グランドデザインの概要と熊本版グランドデザインの方角性について「くまもとデザイン」という形で発表しました。必要性をアンケート回答から読み取れることから、グランドデザインとはどういうものかはしっかりとわかっていただいたと思います。熊本版グランドデザインの完成を望む声も多数あります。完成までしっかりと取り組みます。平成30年2月の研究大会におけるキャリア別研修を望む声も多数ありました。会員のニーズに合ったキャリア別分科会を研究部で取り組みたいです。

3 講演「次世代の学校における事務職員の役割」について

合う	179
ふつう	20
合わない	0
未回答	16



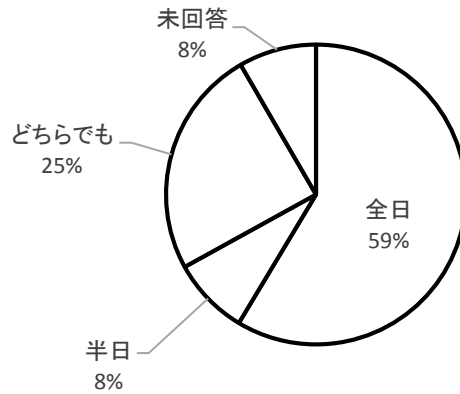
3 講演「次世代の学校における事務職員の役割」について

会場の年齢層を考慮した話から入っていただいたことで、スムーズに講演内容に耳を傾けられたのではないかと思います。研究会の講演となると前述したように理解し難いカタカナが出てきて、最終的に難しかったと思う講演がほとんどです。しかし、藤原研究官の講演は本当にわかりやすく丁寧にたくさんのお話いただきました。文科省の政策や現状も会員にポイントを押さえて説明いただき創生プランについて理解できたのではないかと思います。全体を通して会員のやる気が出るような講演でとても良かったです。

4 全体研究会の運営等について

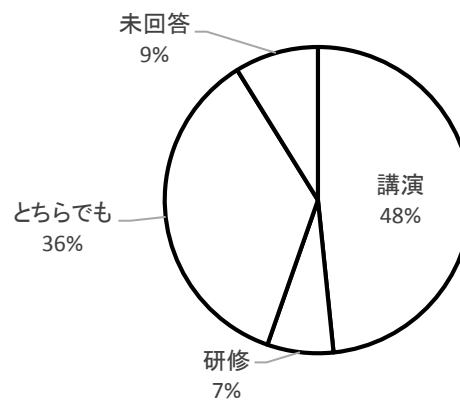
(1) 日程について

全日	126
半日	18
どちらでも	53
未回答	18



(2) 内容について

講演	104
研修	15
どちらでも	77
未回答	19



(3) 意見・感想・聞いてみたい講演等

4 全体研究会の運営等について

- (1) 日程については全日程を希望する声は過半数を超えており今後も、1日の日程で研修会を計画します。
(2) 内容について、講演を望む声が半数を占めています。平成30年2月大会は午前中に講演、午後からキャリア別分科会を計画しています。
(3) 様々なご意見をいただいています。貴重なご意見として今後に活かします。

第41回熊本県学校事務研究大会にご参加いただいた皆様からのアンケートについては全て拝見させていただきました。皆様の貴重なご意見につきましては、今後の大会運営において参考にさせていただきます。アンケートのご協力本当にありがとうございました。

熊本県学校事務研究協議会 会長 上田千浩